

製品名: STK3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00072**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 56 kDa; Observed MW: 56 kDa

抗原情報

遺伝子名	STK3
別名	STK3; Mess1; MST-2; MST2; Serine/threonine kinase 3; KRS1; STE20-like kinase MST2
遺伝子 ID	6788
SwissProt ID	Q13188
免疫原	ヒト STK3 の合成ペプチド

背景

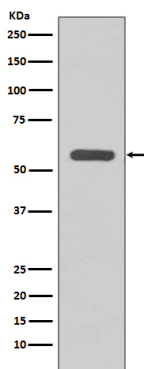
ストレス活性化プロアポトーシスキナーゼは、カスパーゼによる切断後、核内に侵入し、クロマチン凝縮を誘導し、続いて核内 DNA

断片化を引き起こす。Hippo シグナル伝達経路の主要構成要素であり、増殖を抑制しアポトーシスを促進することで、臓器サイズの制御と腫瘍抑制に極めて重要な役割を果たす。この経路の中核はキナーゼカスケードで構成され、STK3/MST2 および STK4/MST1 は、その調節タンパク質 SAV1 と複合体を形成し、その調節タンパク質 MOB1 と複合体を形成した LATS1/2 をリン酸化・活性化する。LATS1/2 は、YAP1 がんタンパク質および WWTR1/TAZ をリン酸化・不活性化する。

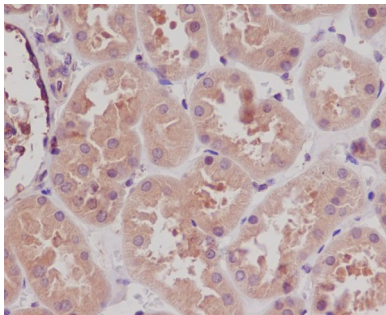
研究分野

細胞生物学

画像データ



STK3 抗体を使用した HeLa 溶解物中の STK3 のウエスタン ブロット分析。



STK3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。